

# 壁打設専用ホース

## ライトウェイトコンクリートホース 狭い型枠内打設で骨材分離を防止



- 骨材分離を防止
- 発生しない折れしわ
- 発生しないホースのバタツキ
- 無くなった袋状閉塞



ホースクリップ 501113

ホースクリップは、ホースノズル1個につき2個必要です。

SK125 5B

ホースノズル SK125 5B 252337000

このギザギザで、ホースを確実に固定します。

なぜ骨材が分離しないのか？

生コンの無い時、ホースは閉じています。

ホースはモコモコとした動きになります。

内側のゴムの抵抗で  
生コンにブレーキをかけ、  
材料分離を防ぎます。

断面図

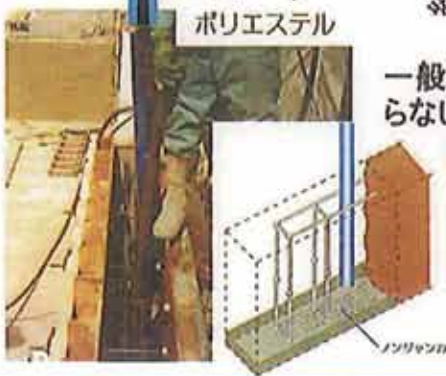


ゴム  
ポリエステル



ライトウェイトホース067980008

任意の長さで販売可能です。  
カッターで切断できます。



一般的な先端ホースの入らない狭い型枠や鉄筋の隙間に入れることができ、落下高を抑え、ジャンカの発生を防ぎます。

先端からの落下状況



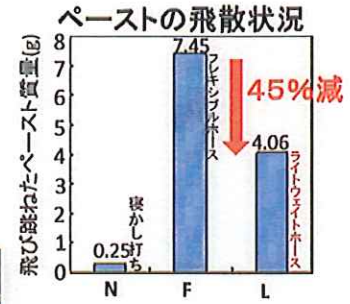
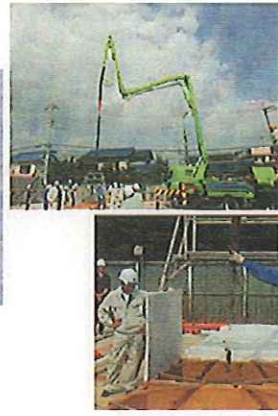
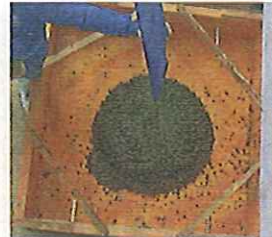
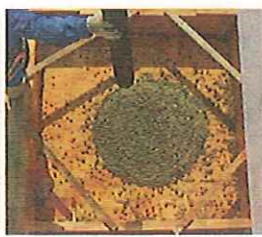
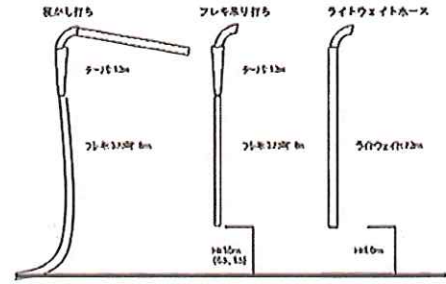
ライトウェイトホース 一般的な先端ホース



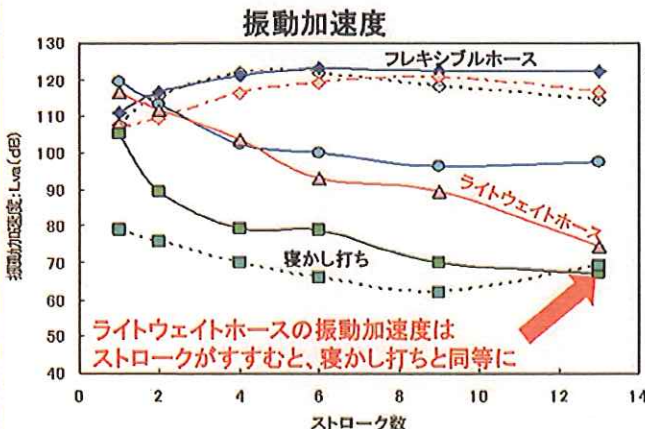
# 2011年建築学会大会で、吊し打ち実験結果が発表されました。

- 実験概要**
- 1.5m角のスラブ型枠に吊し打ちおよび寝かし打ちでコンクリートを打設
  - 吊し打ちでの打設時の状況とコンクリート品質の確認
  - 先端ホースの種別、自由落下高さの違いをパラメータとした

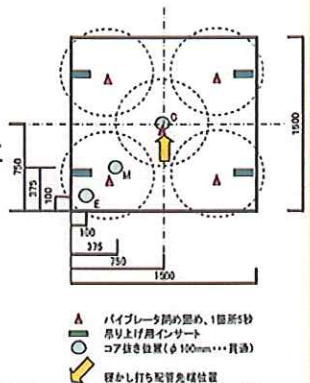
記号	作業	ホース	自由落下高さ
N1	寝かし打ち	フレキシブルホース	0 m
F-1.0	吊し打ち	フレキシブルホース	1.0m
F-0.5	吊し打ち	フレキシブルホース	0.5m
F-1.5	吊し打ち	フレキシブルホース	1.5m
L	吊し打ち	ライトウェイトホース	1.0m
N2	寝かし打ち	フレキシブルホース	0 m



- フレキシブルホース ライトウェイトホース
- Fは周辺に骨材が飛び散っているがLでは少ない
- 落下速度がLの方がFより遅い



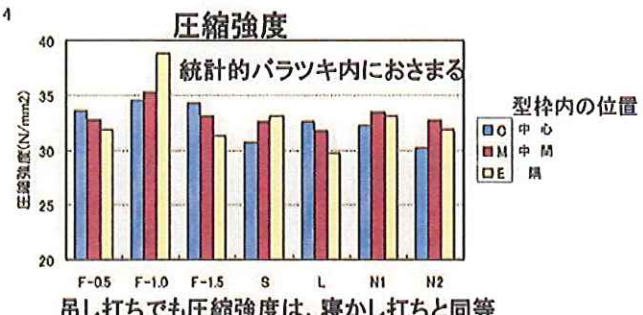
加速度計を型枠中央の裏側に取付て、打設中の振動を計測



- Fは全ストロークで120dB程度、N、Lは小さくなる
- Fでは高さが変わっても振動加速度の変化は小さい

**コテ均しの作業性**

記号	作業	高さ	コテ均しの作業性
N1	寝かし打ち	0m	◎
F-1.0	フレキシ吊り打ち	1.0m	△
F-0.5	フレキシ吊り打ち	0.5m	○
F-1.5	フレキシ吊り打ち	1.5m	×
S	S字管	1.0m	○
L	ライトウェイトホース	1.0m	○
N2	寝かし打ち	0m	◎



吊り打ちにおいても1.5m以下では分離せず、打ち込まれたコンクリートの強度は寝かし打ちと同等でした。  
**ライトウェイトホースで落下速度を抑制する効果が確認されました。**

ご使用 ご用命は、

東北工業(有)まで、ご一報を 0176-23-8244